

ふくしまの“命”を守る。



福島県医師会副会長

ほし ほくと
星北斗

地域医療の現場を知る “星北斗”だからできる

ことがあります。



ふるさと福島の輝かしい未来のため、
子どもたちのために。
コロナ対策、東日本大震災からの
真の復興、風評払拭、地方創生、
医療・介護・子育て、
山積する課題に全身全霊をかけて
取り組んで参ります。

星に願いを
お聞かせください！

ほし ほくと
星北斗 後援会
事務所

- 郡山 〒963-8051 郡山市富久山町八山田字向作59-6
TEL 024-983-4414 FAX 024-983-4415
- 福島 〒960-8043 福島市中町1-19(自民党福島県連)
TEL 024-523-2310 FAX 024-522-1207



hoshi-hokuto.jp



後援会討議資料

Profile 星 北斗(ほし・ほくと)

- 1964年(昭和39年)3月18日 郡山市生まれ
- 1989年3月..... 東邦大学医学部卒業
- 1989年4月..... 医系技官として旧厚生省に入省、
秋田県保健福祉部技術吏員に
- 1992年..... 労働省労働基準局安全衛生部
化学物質調査課係長を拝命
- 1996年..... ハーバード大学公衆衛生大学院客員研究員
として約一年間、米国留学
- 1998年..... 財団法人星総合病院副理事長
- 1999年..... ポラリス保健看護学院学院長
- 2000年..... 日本医師会常任理事(2004年3月まで)
- 2001年..... 東邦大学医学部客員教授
- 2002年..... 日本看護学校協議会常任理事
- 2005年..... 福島県医師会常任理事
- 2006年..... 郡山医師会理事(2015年3月まで)
- 2008年..... 福島県立医科大学臨床准教授
- 2008年..... 財団法人星総合病院理事長
- 2011年3月..... 福島県「県民健康管理調査」検討委員
- 2012年..... 公益財団法人星総合病院理事長
- 2013年6月..... **福島県「県民健康調査」検討委員会座長**
- 2015年..... **福島県医師会副会長**
- 2017年..... 日本看護学校協議会副会長
- 2020年..... 福島県立医科大学臨床教授

趣味は音楽、
ウクレレ、料理、
スキー、自転車
など



ふくしまの“命”を守る。

ほし ぼくと
星北斗は
約束します!



わたしは、東日本大震災および東京電力福島第一原発の事故、台風19号、福島県沖地震、新型コロナウイルス感染症など、さまざまな困難に福島の医療従事者として直面してきました。福島県医師会の副会長として、県民の皆さまの声にしっかりと耳を傾け、ご不安を取り除くために寄り添ってまいりました。これからも、県民の皆さまが安心して暮らせる福島県を創るために、星北斗は走り続けます。

福島に安心できる “地域医療”を!

さまざまな自然災害、新たなウイルスの出現などに備えるには、“地域医療”の力をしっかりと強化しておく必要があります。わたしはこれまで、福島県医師会の副会長として、すべての県民の“命”を守り、安心して暮らせる医療体制づくりに取り組んできました。皆さまに穏やかで健やかな毎日をお約束できるように、これからも地域の医療を全力で守りぬきます。

まずはコロナ対策!

- 検査機関・医療機関における診療・検査体制の拡大・連携強化
- 感染拡大を想定した病床・療養施設の確保と受け入れ体制の強化
- 防災対応体制の強化と災害時健康危機管理支援チームの設置など大規模災害に対応できる体制の整備



福島県医師会の副会長として
数々の困難に立ち向かう



福島の子どもたちに “笑顔”を!

原発事故による健康不安の解消や、将来にわたる健康の見守りなどを目的として福島県が実施する「県民健康調査」。その検討委員会の座長として、わたしはすべての県民の皆さま、とりわけ子どもたちの健康維持に力を入れてきました。これからも放射線やコロナウイルスへの不安な気持ちに寄り添いながら、子どもたちの“笑顔”があふれる福島を築いていきます。

- 子どもたちの“こころ”と“からだ”の健康づくり
- 地域全体で子どもたちを育む環境づくり
- 子どもたちの自然体験・社会体験活動への支援強化



福島民友 / 平成25年6月6日掲載



船引保育所運動会に参加 / 令和3年9月24日

ふるさと福島の 未来に“輝き”を!

福島県には、四季折々の美しい景色、豊かな自然の恵みがあります。先人たちが磨いてきた文化や、誇るべき歴史があり、美味しい食や酒も豊富です。しかし、東京電力福島第一原発の事故以降、その魅力を十分に活かせず歯がゆい思いをしてきました。わたしは科学的事実に基づいて風評を吹き飛ばし、これまでにない新たな地方創生に取り組んで、福島の未来を“輝き”で満たします。

- 福島県産品の信頼回復と競争力強化
- 浜通り地域等の産業創出や再生、さらには人材育成や住民帰還の促進に向けた福島イノベーション・コースト構想の推進
- 医療機器開発から事業化まで企業の状況に応じた適切な支援による更なる医療関連産業の集積



ポラリス保健看護学院の生徒と昼食会 / 平成30年12月12日